

注目ポイント！

みなとまちとして栄えた町並みや歴史文化のブランド化を目指す。  
行政、地元企業、NPO等が一体となって観光振興を推進。



三国の歴史・文化を目的とした観光客数が約2万人増加！  
(平成13年 平成17年)



みなとまち「三国町」

コラム

みくに歴史を生かすまちづくり推進協議会常務理事に就任後、観光協会、商工会等の関係機関に働きかけ、三国湊魅力づくりプロジェクト委員会を立ち上げた。

大和氏が活動を進めるにつれ、地元ボランティアや企業らの協力が次々に集い、現在では三国湊の魅力为全国に発信しようと、町全体が連携して観光振興に取り組むようにな



った。三国湊魅力づくりプロジェクト実行委員会 副代表

大和 久米登氏

これまでの経緯

- 平成 9年(1997) 旧森田銀行本店が国の登録有形文化財に登録される。
- 平成13年(2001) 「みくに歴史を生かすまちづくり推進協議会」が活動を開始する。
- 平成15年(2003) 三国港突堤(エッセル堤)が国の重要文化財に指定される。
- 平成16年(2004) 港湾遺構(三国港突堤等)を核とした良好な景観形成のあり方について、国土交通省、有識者、まちづくりに関わる地元諸団体等により検討。今後の方向性を示す。「三国湊魅力づくりプロジェクト実行委員会」が活動を開始。歴史文化散策や体験エコツアーが始まる。
- 平成17年(2005) 社会実験として遊覧船の試験運航を実施する。港町の魅力を活かすため、街なみ環境の整備に着手する。
- 平成18年(2006) 三国湊魅力づくりプロジェクト実行委員会により、「三国湊座」がオープンする。

## 主な取り組み

### 観光拠点「三國湊座」

港町として栄えた三國湊は豊富な地域資源がありながら個別に事業展開し、全国的には印象、魅力が希薄だった。そこで、地域ブランドの創造を目指し活動を続けてきた地元有志らが「三國湊魅力づくりプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、まず名勝「東尋坊」の知名度を活かし、「歴史・文化」「自然」「味覚」の地域資源を組み合わせた町中散策ツアーやクルージングツアーを実施。

さらに、全ての観光資源を一体化してPRするため、市民団体が木材倉庫を改装し、賑わいを創出し観光拠点となる「三國湊座」をオープンさせた。訪れる観光客への各ツアーの受付、甘味処や名産・物産販売のほか、芝居など文化イベント等も発信。プロジェクト委員会の地道な活動が功を奏し、三國湊の新たな観光拠点が町全体に賑わいを与え始めた。



三國湊座

### 三國湊回遊水上バス



三國湊回遊水上バス

港町三國を海から眺めてもらおうと、市民団体・企業らが、歴史・文化施設の観光と連携して、三國湊～東尋坊周遊クルージングツアーを企画・運航。

歴史的港湾施設も観光資源として活用。

三國観光の目玉に。

### 三國湊の歴史文化散策

大正時代の銀行や港町の旧家の町並みを活かそうと、市民団体が観光客ニーズにあわせ三國湊の歴史・文化散策のガイドツアーを企画。地元で詳しい市民ボランティアがガイドとなり、街ぐるみで観光客を出迎える。

ボランティア団体は、研修会の開催によりガイドの腕に磨きをかける他、観光地の美化にも取り組むようになった。

みなとまち三國の旧家



大正時代の旧森田銀行

### 三國体験エコツアー

三國の自然・文化を体験してもらおう「エコツアー」を市民団体が企画。

磯の自然観察、農産物の収穫、工芸品や特産品の製作、郷土芸能体験など、地元農家・職人等の協力により、多くの手作り観光ツアーを実現。

リアルに三國の魅力に触れることが出来、参加者の評価は高い。



荒磯染め体験



磯の生物観察

### 問い合わせ先

三國観光協会

Tel : 0776 - 82 - 5515 <http://www.mikuni.org>

三國湊魅力づくりプロジェクト実行委員会

Tel : 0776 - 81 - 3921 <http://www.mikuni-minato.jp>